

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- | | |
|---------------------------------|-----|
| ・ 合同講演会の開催 | P 1 |
| ・ 東京駅丸の内駅舎工事見学会及び意見交換会を開催 | P 3 |
| ・ 第 16 回交流展示会・第 21 回技術研究発表会のご案内 | P 4 |
| ・ 会員紹介：株式会社アール・アイ・エー | P 5 |
| ・ 機構の活動状況 | P 6 |

§ 合同講演会の開催

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第 5 回目の講演会を、9 月 16 日（水）に都市計画会館会議室において開催いたしました。

国土交通省都市・地域整備局が 2008 年 7 月に組織再編したことによる再編後の同局の行政の課題や方向性について、関係各課から講師をお迎えし、シリーズで各課のご講演をいただくシリーズの第 5 回は、まちづくり推進課都市総合事業推進室の清水室長をお迎えし、『都市再生に関する最近の話題』と題して講演会を開催しました。



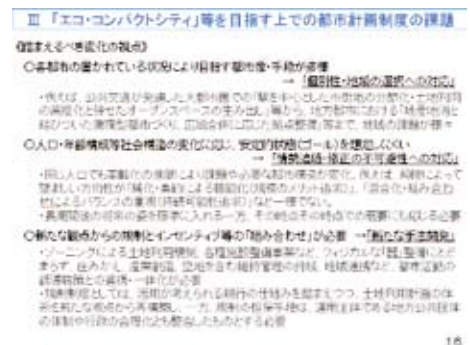
今回は、来年度予算要求の新規事項である「まちづくり交付金」と「交通交流拠点」に関する内容と、「都市計画法見直し」に関する内容についてお話しいただきました。



講演では、都市整備の大きな曲がり角、都市をめぐる状況の変化（人口減少、地球環境問題の深刻化、個性的なまちづくりの要請、財政的な制約の高まり）、まちづくり交付金の経緯・背景（英国SRB、都市再生の推進、地方分権の推進、まちづくりの主役は市町村）、概要（地方の自主性・裁量性の大幅な向上、手続きの簡素化による使い勝手の大幅な向上、目標・指標の明確化、平成21年度予算：2,332億円、H21.4.1現在748市町村・1,276地区のまちづくりを支援中）、事業評価の特徴（PDCAサイクルの確立、わかりやすさと透明性の確保、市町村の主體的な取り組み）、目標、拡充（国の施策に関連した都市再生への更なる支援の強化、国策まち交該当施策の追加）、交通結節点の利便性の向上と一体的整備による暮らしやすいまちづくり（整備する仕組みの構築）、駅や駅周辺を中心とした暮らしやすいまちづくりの推進（駅大規模改良と併せて行う生活支援機能設置、既存駅・高架下等を活用した生活支援機能設置）、まちづくり支援強化法案（新たな無利子貸付制度や協定制度の創設）、歩行者ネットワーク協定（質の高い歩行者空間の整備・管理を行うことにより快適な公共空間を実現）、都市計画制度の総点検（エコ・コンパクトシティ等の実現を目指す観点、段階的な対応、制度課題ごとに仕分け）、エコ・コンパクトシティと都市計画の関わり、エココンパクトを目指すための施策の方向（建築物の更新の誘導、都市利用の混合化・複合化、空地の系統化と再自然化）、目指す上での都市計画制度の課題、制度検討の方向性（持続可能な集約型都市構造化という基本方針の明確化、取組を強化するため早急に措置する項目）、都市計画における分権化の徹底（計画から事業にわたる権限の一体化）と全体の調和の確保、等の項目についてパワーポイントを用いて説明いただきました。

会場の関係で、ご参加いただけなかった方々に、改めてお詫び申し上げます。

本シリーズについては、国土交通省関係各課にご協力をいただきながら、今後も進めてまいります。

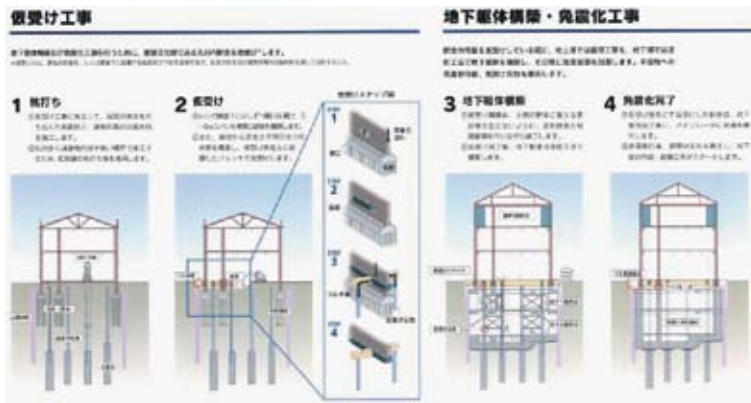




§ 東京駅丸の内駅舎工事見学会及び意見交換会を開催 (アーバンインフラ・テクノロジー推進会議・都市地下空間活用研究会)

去る9月9日に、東日本旅客鉄道(株)のご協力を得て改修工事中の東京駅丸の内駅舎の見学会、並びに国土交通省都市地域整備局のご協力を得て意見交換会を新丸ビル・エコツェリアにて開催しました。

見学会では、未来へ継承すべき貴重な歴史的建造物の保存・創建時の姿への復原工事、地下躯体構築・免震化工事、駅機能・乗降客動線の確保、安全確保などについてご説明をいただき、その後現地を見学しました。



駅舎は何故左右対称ではないのか、何故南側だけウイングがあるのか、何故行幸通りと直角になっていないのか、などの東京駅にまつわる疑問や、駅と郵便局の位置関係(郵便局が必ず駅の下関寄りに位置する)などの興味深いお話もありました。

見学会の後は、新丸ビルのエコツェリアにおいて、伊藤滋会長の挨拶のあと、阪井 国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市計画調査室長から、「都市計画を巡る最近の話題について」と題して、都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会報告(概要)、都市計画制度の総点検の視点、課題、制度検討の方向性として取組を強化するための早急に措置する項目・関連制度との関係などを含め幅広く慎重な検討が必要な事項、小委員会の当面の審議の進め方とスケジュール、などについてご説明をいただきました。



その後はご出席いただいた高橋都市・地域安全課長、有安街路交通施設課整備室長や参加者全員による、講演や見学会に対する質疑応答や、フリーディスカッションを行い、高速道路無料化による鉄道への影響、エコ・コンパクトシティ他、様々な意見交換が行われ予定時間を超過するなど、意見交換会を盛況に開催することができました。





§ 第16回交流展示会・第21回技術研究発表会のご案内 (アーバンインフラ・テクノロジー推進会議)

高度で豊かな都市社会の構築を目指す「アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 (UIT)」では、その実現に寄与するための諸事業の一つとして第16回交流展示会・第21回技術研究発表会を以下のとおり開催致します。

【第16回交流展示会】

1. 日時：平成21年11月9日(月)から15日(日)
2. 場所：行幸地下通路(東京駅丸の内側、行幸地下ギャラリー&スクエア)



【第21回技術研究発表会】

1. 日時：平成21年11月12日(木)
2. 場所：丸ビル8階コンファレンススクエア
 - ・開会式 10:00～
 - ・論文発表 10:30～14:40
 - ・招待論文発表 15:00～16:15
 - ・講演会 16:20～17:10
 演題：「人と環境に優しい都市交通施策について(仮)」
 講師：国土交通省都市・地域整備局 街路交通施設課
 企画専門官 菊池 雅彦氏
 - ・講評・表彰式・意見交換会 17:15～
3. 参加費：会員・学識経験者・公共団体の方 3,000円

詳細はUITホームページ <http://www.uit.gr.jp/> をご参照ください



§ 会員紹介：株式会社アール・アイ・エー 全国各地で、地域に根ざした「まちづくり」を実践しています。

アール・アイ・エーは、1953年の創立以来、まちづくりの計画・コーディネートや建築の設計・監理を通じて、豊かな生活空間づくりに貢献してまいりました。

特に、市街地再開発事業を活用したまちづくりでは、豊富な経験と確かな技術を有しており、全国各地で「街の顔」となる空間を創造してまいりました。地元や地方公共団体とのパートナーシップを大切に、地域の実情にあった街の再生に取り組んでいます。

近年は、再開発も多様化しており、大都市の超高層複合プロジェクトから、地方都市での中心市街地再生プロジェクトまで、それぞれの地域の身の丈にあった再開発が必要となっております。弊社は、全国レベルでの情報の共有化や計画・設計を併せ持つ総合力を強みに、これからも地域に根ざしたまちづくりに取り組んでまいります。

●武蔵ヶ辻第四地区第一種市街地再開発事業（石川県金沢市・2009年3月竣工）

金沢の歴史・文化を継承しつつ、新たな拠点を創造した再開発プロジェクト。観光名所である近江町市場「らしさ」の再現や歴史的建築物の曳家・活用など、新たなランドマークとして市民に親しまれる施設づくりが、古都金沢の目指すまちの姿にうまく調和しています。



●新町・ロータリー地区第二種市街地再開発事業（沖縄県嘉手納町・2008年3月竣工）

米軍基地の町での低容積型再開発。国道による街の分断を解消し、一体感を高めることで、中心市街地の活性化を図っています。円形広場を中心としたユニークな施設配置や、ローカルデザインを取り入れた人工地盤上の戸建て風住宅など、地域に溶け込んだまちづくりが実現できました。





§ 機構の活動状況

日	9月	日	10月
1	(財)日本開発構想研究所と意見交換	8	土地活用モデル大賞最終審査
4	東京都と意見交換・新たな都市整備戦略	26	土地活用モデル大賞表彰式
15	土地月間委員会	26	土地月間記念講演会
16	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会		
17	内閣府地域活性化統合事務局と意見交換		
28	東京海洋大学と意見交換		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

2	八重洲・京橋・日本橋分科会幹事会	5	八重洲・京橋・日本橋分科会幹事会
7	地下街耐震調査検討委員会	5	情報化推進部会
9	東京駅見学会及び意見交換会	6	大阪分科会幹事会
10	情報化推進部会	7	八重洲・京橋・日本橋分科会幹事会
14	地下街耐震調査検討委員会	7	新たな地下利用像 W3
16	事業部会	9	地下街耐震調査委員会
16	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会	16	地下利活用整備検討分科会
17	大阪分科会幹事会	28	首都圏都市基盤施設整備研修会
17	八重洲・京橋・日本橋分科会幹事会		
25	地下利活用整備検討分科会		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

9	東京駅見学会及び意見交換会	28	第2回首都圏都市基盤施設整備研修会
15	論文審査委員会		
16	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会		
24	企画運営部会		

《まちづくり交付金情報交流協議会》

--	--	--	--

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他